



発行日：平成 29 年 12 月  
編集・発行：矢作川流域圏懇談会 事務局

### ◆海ごみ減らそうフォーラムに参加しました！

海ごみ減らそうフォーラムは、海ごみが内陸部を含めた県内全域の問題であることから、NPO、企業、行政等多様な主体が連携・協力しながらそれぞれの立場で海ごみ問題に取り組んでいく契機とするため開催されたものです。矢作川流域圏懇談会としては、フィールドワークやワークショップに参加し、海ごみの現状とゴミを減らすための対策について意見交換を行いました。

日時：H29年11月25日（土） 9:30～16:00  
場所：フィールドワーク・・・猿渡川、家下川  
発表及びグループ討議・・・岡崎市役所 福社会館 6階ホール  
参加人数：80名（行政、企業、NPOを含む）



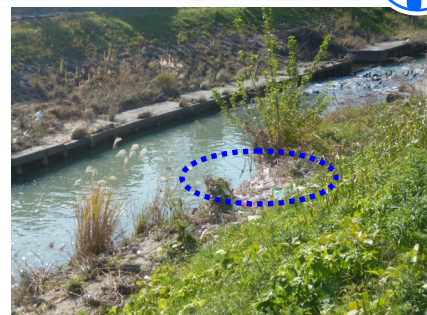
### ◆イベントの内容について

#### 1. イベントの目的と内容

- 「私たちの生活に伴って発生する各種のゴミ」は管理されないと公共の空間に放置されることになり、やがて河川、水路等を通じて海へと流れ着きます。したがってゴミ問題は「流域や流域圏全体で考え、対処方策を考えていくことが重要」という認識の下、多くの愛知県内外の各種団体や個人が参画し、体験の共有（フィールドワーク）、国、岡崎市、各種団体による話題提供、ゴミ問題に対処するためのグループ討議等を行いました。

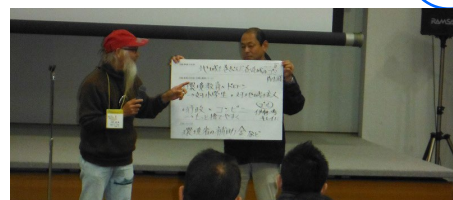
#### ● 内容

- ① 午前：フィールドワーク（猿渡川および家下川）
- ② 午後1：発表 環境省海洋環境室、国交省河川環境課、豊橋河川事務所、岡崎市、NPO団体等
- ③ グループ討議（ゴミ問題を解決するための方策）発表
- ④ 総評（大阪大学 青木伸一教授）  
（岡崎市役所福社会館 6階ホール）



#### 2. 矢作川流域圏懇談会の関わり

- 矢作川流域圏懇談会からは、海、川、山の各部会の有志のメンバーが参加しました。
- 午前中のフィールドワークでは、矢作川流域圏懇談会に古くからかかわっておられる近藤朗氏（猿渡川）、野田賢司氏（家下川）に川ゴミの状況や管理の状況をお話いただきました。
- また、午後の座学では、豊橋河川事務所の末松副所長より矢作川流域圏懇談会の活用概要を紹介いただきました。
- 青木座長には総評として本イベントのまとめをしていただきました。



### 3. 海ごみ減らそうフォーラムの開催風景



フィールドワーク：猿渡川



フィールドワーク：家下川



主催者挨拶



矢作川流域圏懇談会の発表



グループ討議



討議結果の発表

#### 【活動を通じて感じた事】

##### ◆よかったと思うこと

- ・フィールドワークで川ゴミ散乱状況の概要を知り、その後座学で、国、岡崎市、一般社団法人JEANはじめNGO、各種団体の取組の概要を知りました。フィールドワークを事前に行ったことでゴミに関する理解が深まったと感じます。

##### ◆改善してほしいこと

- ・グループ討議は皆で意見を出し合う場として重要だが、進め方の説明が短時間ではよく理解できず、「やり残し」感を持ちました。時間はありませんが、もう少し分かりやすく説明して欲しかったです。

##### ◆今後に向けた進め方の提案

- ・グループ討議結果のフォローアップが欲しいと感じました。新たな取り組みを提言しているグループもあり、次のイベント機会などで改めて話題提供いただくなど。

##### ◆その他（質問・感想など）

- ・川ゴミの視察箇所2ヶ所（河川）は、河川の中では「ゴミが多くないところ」という説明でしたが、それでも多くの紙ごみ、プラスチックごみが散在しており、このようなイベントや繰り返しの必要性を改めて感じました。
- ・グループ討議の結果を当日中に紙でよいので配布して欲しいと感じました。少なくとも自分の参加していないグループの討議結果を改めて知りたいと思いました。

#### ◆お問合せ◆

##### 矢作川流域圏懇談会事務局

〒441-8149 愛知県豊橋市中野町字平西 1-6 国土交通省豊橋河川事務所 事業対策官 松山、調査係長 服部  
TEL 0532(48)8107/FAX 0532(48)8100

\*矢作川に関する情報は、矢作川流域圏懇談会メーリングリスト (yahagigawa@ijinet.or.jp) までお送りください。